

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【公開番号】特開 2012-7730 (P2012-7730A)  
 【公開日】平成 24 年 1 月 12 日 (2012.1.12)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-002  
 【出願番号】特願 2011-134189 (P2011-134189)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 F 15/04 (2006.01)**

**H 0 5 K 5/02 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 F 15/04 A

H 0 5 K 5/02 L

【手続補正書】  
 【提出日】平成 26 年 6 月 2 日 (2014.6.2)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

システムであって、

ヘッドおよび本体を含むボルトを有し、前記本体は第 1 部分および第 2 部分を有し、前記第 1 部分は、前記ヘッドと前記第 2 部分との間であり、前記第 2 部分は、取り付け表面に機械的に連結されるように構成されるネジ付き部を含み、

前記システムはさらに、粘性流体を有する流体充填チャンバを有し、前記流体充填チャンバは、前記ボルトの前記第 1 部分を少なくとも部分的に囲み、前記ボルトは、前記流体充填チャンバを完全に通って延び、前記流体充填チャンバは前記ボルトに対してスライドするように構成され、

前記システムはさらに、前記ボルトの前記第 1 部分から前記流体充填チャンバ内に延びる少なくとも 1 つのフランジを有し、前記少なくとも 1 つのフランジは、前記ボルトに対する前記流体充填チャンバの運動を減衰させるように前記粘性流体と相互作用するように構成され、

前記システムはさらに、前記ボルトの前記第 2 部分を少なくとも部分的に囲むコイルバネと、

前記流体充填チャンバに機械的に連結されるシャシーと、を有し、前記ボルトは、前記シャシーを前記取り付け表面に機械的に連結させるように構成され、

前記システムはさらに、前記シャシー内に位置決めされる少なくとも 1 つのプリント板を有する、システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のシステムであって、さらに、取り付け表面を有し、前記コイルバネは前記シャシーと前記取り付け表面との間にあり、前記シャシーは前記ボルトに対して移動可能であり、前記流体充填チャンバ、前記少なくとも 1 つのフランジ、および前記コイルバネは、前記取り付け表面から前記シャシーへ伝達される振動力を減衰させるように構成される、システム。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のシステムであって、前記流体充填チャンバは、第 1 直径を備える開口

部を画定し、前記ボルトは、ヘッドおよび本体を画定し、前記ヘッドは、前記第 1 直径よりも大きな第 2 直径を備え、前記本体は、前記流体充填チャンバの前記開口部を完全に通って延び、前記ヘッドは、前記流体充填チャンバの外側に位置決めされる、システム。